

特定非営利活動法人むぎの花

令和2年度事業報告書

1 事業実施の概略

特定非営利活動法人むぎの花（以下 NPO 法人むぎの花と略称）は、障がい者に対して自立支援のための就労に関する事業を行い、地域福祉の発展に寄与するという理念を常に念頭におき、障害者総合支援法（略称）の下で、障害者就労継続支援事業を進めています。就労継続支援事業所むぎの花（A型とB型の多機能型）となって10年となります。正社員4名、パート労働者（常勤換算）2,8名、労働者兼務役員1名、ボランティア6名とサービスご利用者29名の総勢42.8名が関わって運営をしてきました。サービス提供時間は延べ17,971時間となりました。

令和2年度は、4月早々新型コロナウイルス感染症のパンデミックという未経験なことに対応し、サービスご利用者の心身の安定にかなりのエネルギーを注いで福祉サービス事業を継続してきました。そのひとつひとつが貴重な経験であり財産となっています。令和2年秋には、名刺台紙の表面に間米町の洪水ハザードマップを裏面には災害時に最低限必要な個人情報、緊急避難先、居住地の福祉避難所を明記したものを配布しました。続いて「新型コロナウイルス感染症発生時における業務継続計画」を作成しました。少人数のスタッフで有効に活動できる形にしていく必要を感じ今後さらに改良していきます。

さらに飲食事業と農産物生産事業においても安心安全な社会生活の維持のための改正食品衛生法にアンテナをはって運営して参りました。

NPO 法成立から23年になり、事業承継問題が社会問題となっています。当法人もしっかり意識し、根幹事業である障害福祉サービスの手続きなど事務領域の充実に続いて、新サービス管理者のもと支援員によるサービスの質を高めることにポイントをおいて内部での事務局会議の充実に務めました。支援員間で忌憚なく意見を出し合える形となっていますが、まだまだ時間を要する状況にあります。

四月には、ホシザキ株式会社様から最新型ドウコンディショナー（A型）を、坂本精志会長様からは大型冷蔵庫と冷凍庫（B型）をご寄付いただきました。事業開始時から「何か困ったこと」に適時・適所にご支援をいただいておりますことは、法人の継続力等に大きなお力をいただいております。深い感謝とともにご報告させていただきます。

本年も“お客様に喜ばれる物づくりをしよう”というスローガンを掲げて事業所一体となって働きました。

A型事業のベーカリーカフェむぎの花は、今まで積み重ねてきた食品衛生リスク管理のノウハウを継続して職場の清潔維持、パン成型から仕込みまでの技術、各所への外商、接客技術、レジの正確性や、商品説明力、さらに原価計算や会計業務等々細かく仕事を切り出して「働く」、またむぎの花版 SST（ソーシャル スキル トレーニング）を身に付けて「働く」ことに焦点をあててサービスを重ねてきました。売上アップ意識を育てるところまではまだまだですが少しずつ力を付けてきています。全ての工程は、ご利用者に用意されているものであることを念頭において、日々おいしいパンを提供するため、働いています。パンの売れ行きはよく、閉店までに完売する日が多々ありました。それ以上の売り上げを狙うためにご利用者の労働をどう効率的にしていくかは課題となっています。

カフェは9年目を迎えたところで、4月、5月は新型コロナウイルス感染症対応のため一時休業しました。テイクアウト商品も急遽準備しましたが穴埋めは困難でした。この客数が減少した状況を有効に活用して“なるべくご利用者で仕事を進める”という考えで実施しました。11月には、現在のコロナ禍における飲食業に課せられた「ソーシャルディスタンス」等を考慮した喫茶店へのリフォームをテーマにヤマ

ト福祉財団障がい者給料増額支援助成に応募し、令和3年3月に助成していただくこととなりました。

ご利用者10人という規模は、丁寧にサービスできる形と考えています。ご利用希望者は断続的にハローワーク、相談支援事業所、ホームページ等を経て申し込みがありました。相談支援が未熟なケースや、困難なケースですが是非というケース等で、サービスの底力をつける貴重な経験を重ねてまいりました。

A型事業（ベーカリーカフェ）の年間売り上げ実績は1507万円、ご利用者の平均給与は81,060円でした。ご利用者の8割は障がい者年金（2級）とで自立という形になっています。

パン販売におきまして、スガキヤ様、ホシザキ様、生活協同組合コープあいち様、コジマ様、マキタ電気様、サンセットケア様ほか地元企業や公的機関の皆様、また店頭で足をお運びいただいたお客様、すべての皆様に本年度もご愛顧いただきましたことに深く感謝いたします。このようなつながりが「地域で生きていく」という理念の実現に大きな力となっていると考えています。

3月には、ご利用者が私立高校教員として（1名）、短時間労働者として（1名）就労しました。

B型事業のむぎ花ファームは「人にやさしい農業」をコンセプトにした自家生産や地元生産者の農産物と手織り製品の生産、内職作業をして5年3か月です。そして、今年度はフェアトレードコーヒー豆を購入し、店頭で商品となるまでの仕事も始めました。

誠実に作られた農産物を納品してくださる地元の方々が32人おり、様々な情報もいただき強い力となっています。農産物の加工技術は蓄積されジュース、漬け物、乾燥野菜製品、ジャム等となって店頭販売とあいち尾東農協豊明フレッシュセンターに委託販売をしています。耕作地は事業所東側隣地の畑（200㎡）とさらに農産物を納品して下さっていた方の西側隣地の畑（300㎡）もお借りできることとなりました。自家野菜を作り始めて6年、畑土の質が大変よくなっています。農作業、店頭で並べるまでの野菜洗い、袋詰め、値段付け、加工品づくり、そして事務業務まで様々な作業にご利用者が責任をもって働いています。端境期や、売れ筋野菜のラインナップ等の課題も抱えています。年間250万円の売り上げとなっています。

手織りは、常時織り手が3人と増えました。織りを設計して高品質な織物を生産したり、個性豊かに織り続けることで、いつの間にか心身が安定していたり、ゆっくりですが、自分で糸を選ぶことから織りを始めたり、想像を超えた場面に出会っています。織ったもので小物を作り店頭販売や、地元喫茶店での委託販売やネット販売（BASE）も継続しましたが、コロナ禍の影響が大きく、イベントなど外での販売機会は激減しました。手織り製品の年間売り上げは14,6万円で。売り方の工夫をする努力を続けていく必要を強く感じつつ進めています。

また、ご利用者にとって内職は重要な位置を占め入りやすい形となっています。休憩をいれながら大変熱心に仕事をこなし、集中力と体力のいる作業です。単価が低く工賃アップへの課題を抱えています。内職仕事の受注に骨を折って進めていますが、やはりコロナ禍の影響も大きく内職仕事は減りました。年間売り上げは58万円です。今年度の平均工賃は時給131円でした。

新規のフェアトレードコーヒーの仕事は、豆の選別から、ドリップコーヒーにし、包装袋のイラスト描きまで分担してやっています。各々が携わった商品が店頭で並ぶ流れを目で見、肌で感じられる作業です。この大切な作業の意味を積極的に伝えることが課題です。JA豊明フレッシュセンターでも販売を始めました。

長年の懸案事項であった障がい者対象の業務災害総合保険がやっと見付き、ご利用者、職員対象の傷害保険（日新火災海上保険）に加入できたことは特筆すべきことです。

定員A型、B型各10名という小規模事業所として、一人一人に向き合ったサービスを提供しています。「きめ細かいサービス」という特徴に押しつぶされそうになりつつ貴重な経験を重ねて事業を進めています。

ホームページ運営は障害福祉サービス事業運営における情報公開という役割も担っています。その他の日常情報や商品購買力等の面での活用は力不足の状態でしたが、このホームページの作成とメンテナンスを社会貢献としてやっていたという株式会社ARGO様によって、ホームページにリンクされスマホでやれるインスタとフェイスブックのサイトを新設いたしました。会報誌Medakaは毎回400部、年3回発行し、広く情報発信に務めました。イオン黄色いレシート事業からの用紙で賅っています。

ボランティアの参加も法人の活動力の指標となり、年間633、75時間です。コロナ禍により自粛され前年度より89時間ほど減少しています。活動内容は、ご利用者への助力、焼菓子作り、手織り小物づくり、店舗管理に至るまで大変強力なものとなっています。事業所の公開性を高める上でも重要な意味があると考えていますが、ご利用者が社会性を身に付ける上で、何気ない会話が重大な力を発揮されています。

事業を進める人材と労務について、本年度は、介護福祉士2名、保育士1名、社会福祉主事任用資格者1名、初任者研修修了者2名の人材に恵まれ処遇改善もアップいたしました。昨年度から、専門性を高める一助として「研修補助金制度」を実施しましたが、今年度のご利用はありませんでした。また、自己申告型「人物評価表」も実施して2年目となります。小さな集団で、より効果的に仕事をやるために、何を大切にしていけるかをしっかり伝えていく手段として実施いたしました。法人の若い世代のスタッフを呼び込む課題を常に念頭に置いて努力を重ねています。希望をもって継続して参ります。

本年度も、近隣で相談支援の実績を重ねている他事業者やNPO法人様のご助言やご協力により障害福祉サービスを継続できました。またNPO法人の労務や税務の専門的アドバイスを長年にわたりいただいております税理士法人様、社会保険労務士様に対しまして深く感謝いたします。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

ア 障がい者雇用事業

本年度は実施せず。しかし、サービスご利用者、あるいは障がい者が正社員となることは当法人の理念実現のひとつの姿であると考えて常に念頭において進めている。

イ 相談事業

今年度は実施せず。

ウ 障がい者とともに行うボランティア事業

今年度は実施せず

エ 障がい者の芸術文化啓発事業

アールブリュット展、豊明市ひまわり作品展に出品（ご利用者8名）

(2) 障がい者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業

(ア) 事業内容

就労継続支援A型事業は、客席12席の喫茶部を備え、ベーカリーカフェを主軸にもの作り（パン、サンドウィッチ、サラダ、スープ、ランチなど）と接客、外商、清掃などの業務、ITを活用した広報、事務業務等を通じて、働く社会人となるサービスに誠心誠意努めた。就労継続B型事業は、農作業、手織り、内職そして農産物・手織り製品・フェアトレードコーヒー、店舗運営、事務業務と多岐にサービスを行い、適材適所で働くマナーや根気、仕事の精度をあげることに努め、サービスに誠心誠意努めた。

(イ) 実施日時

令和2年4月1日～令和3年3月31日

(ウ) 実施場所

A型 豊明市間米町純堀1820

B型 豊明市間米町純堀1821

(エ) 従事者の人数

管理者（サービス管理者兼務） 1名

A型 常勤指導員 2名 非常勤指導員 0.6名(常勤換算)

B型 常勤指導員 1名 非常勤指導員 2.2名(常勤換算)

(オ)受益者の人数

A型 サービスご利用者 15名(年間平均 9.8名)

B型 サービスご利用者 14名(年間平均 8.1名)

(カ)収入額

A型 35,129(千)円

B型 19,073(千)円

(キ)支出額

A型 34,695 (千) 円

B型 15,816 (千) 円

3 各種申請等に関する事項

- | | |
|--|---------------|
| 1 IT教育事業に関する助成支給申請
(一般社団法人日本電子機器補修協会) | 令和2年4月 |
| 2 軽自動車税減免申請(豊明市) | 令和2年5月 |
| 3 軽自動車購入助成申請(中央競馬日本馬主福祉財団) | 令和2年5月 |
| 4 事業報告書等提出(愛知県) | 令和2年6月 |
| 5 2020年アビリンピック選手育成事業支援助成金申請 | 令和2年7月 |
| 6 両立支援等助成金申請 | 令和2年8月 |
| 7 豊明市安全安心おもてなし補助金申請 | 令和2年9月 |
| 8 愛知県社会福祉施設職員慰労金申請 | 令和2年10月 |
| 9 ヤマト福祉財団障がい者給料増額支援助成金申請 | 令和2年11月 |
| 10 特別求職者開発助成金申請 | 令和2年5月,9月,12月 |
| 11 豊明市介護・障害福祉サービス事業所支援給付金申請(豊明市) | 令和2年12月 |
| 12 固定資産税減免申請(豊明市) | 令和3年3月 |
| 13 法人市民税減税申請(豊明市) | 令和3年3月 |
| 14 庁舎使用許可願(豊明市) | 令和3年3月 |

4 会議の開催に関する事項

(1)総会

(ア)開催日時及び場所

令和2年6月21日(14:00~16:30) 場所 むぎの花

(イ)議題

- ①令和元年度事業報告
- ②令和元年度決算報告
- ③令和2年度事業計画
- ④令和2年度事業予算
- ⑤令和2年度役員

(2)理事会

6月、9月、12月、3月の4回

今年度は、コロナ緊急事態宣言中の9月、12月は、メールと回覧で持ち回り審議した。

3月はベーカリーカフェむぎの花にて開催。

現場職員からの活動報告を月毎に報告。

毎月数量から見る法人の動向(売り上げ、サービス利用料)を報告した。

それ以外、月ごとの課題を審議した。

- ・6月 佐野理事長、成田副理事長選出
- ・9月 BCPの第1歩として、災害時の避難マップ個人の災害時対応情報等を載せ、個々で常時携帯する形のものを作成。
- 軽自動車老朽化(8年)のため中央競馬馬主協会助成金申請(トヨタ ピクシス)の承認

B型水回りの設備リフォーム工事（30万円）の承認
 パソコンデータの共有化、バックアップを実施報告。
 照明（A、B型）のLED化完了（ヤマダ電機と110万円/6年のレンタル契約）報告。
 電力料金削減のため中電ミライズからLooop社（年7、4万円削減）
 むぎの花版Social Skill Training(社会生活技能訓練)の定着を図っていく必要について。
 ご利用者も対象となる業務災害総合保険に加入（日新火災海上保険）報告。

A型事業；10月より最低賃金1円アップ927円/時に対するA型事業内容の現状と対策

B型事業；1日1回スローガン唱和を始めた。手織り製品ネット販売（BASE）開始。むぎの花隣地の畑（300㎡）を地権者から無料でかりられることとなった。体調等に波がある
 ご利用者への訪問支援に対し訪問支援費を請求することとした。

・12月 9月に年1回の保護者参加型モニタリング実施。

新型コロナウイルス感染症が発生した場合の対応について、社会福祉課からの情報を得て
 進めている。

豊門市障害福祉サービス事業所支援給付金（24万円）は、作業室と休憩室のコロナ対策機器
 と物品に焦点をあて整えた。

コロナウイルス感染症による売上げの影響は、パンと野菜は影響なく継続中。喫茶と
 内職、手織りについては影響が大きい。

・3月 HPのSNS対応をスマホでできるよう（株）ARGO様と検討。

障がい者施設従事者慰労金をうけ、スタッフ全員へ配布（5万円/人）

経費削減策としてインターネット契約のメーカー統一（NTTからソフトバンク）

新型コロナウイルス感染症発生時における業務継続計画（障害福祉サービス類型：通所
 型）を検討作成。

給与受領不具合対策として給与振り込みを3月分から郵貯で実施（A型5名）

ヤマト福祉財団給与増量助成金申請は書類審査を通過し、Zoomによるヒアリング済。

（その後、3月末に 申請が通過した知らせを受けた）

A型1名一般就労（私立高校に就職）。1名民間会社へ短時間労働

3名の方がご利用希望（2名ハローワークより。1名基幹相談支援センターより）

B型 休みがちなご利用者にどう対応していくかが課題になっている。

新卒ご利用者のご利用支援体制（仕事内容、送迎、発作時対応）検討中。

フェアトレードコーヒーの作業と販売は安定化。

農作業のご利用者の作業内容、作業量の定常化が難しい。

なお、理事会後、経験豊富な理事の皆様にご参加いただき「ケース検討会」を開催。

A型ご利用者の自立にむけての検討。このケースにおいて「支援」と「指導」についての
 考察は、どのケースにも共通する深いアドバイスとなった。

5 令和2年度活動報告（令和2年4月1日～令和3年3月31日）

月 日	活 動 内 容
4 8	フェアトレードコーヒー内職作業準備のため 喫茶ポピー見学研修
11	コロナウイルス感染症対策の徹底（掲示、ドアノブ等の消毒徹底、外商先での 提示等） ご利用者と職員への説明。外商先での営業の許可確認
14	介護給付費等の算定に係る体制等状況一覧表提出（県） 防災設備定期点検（年2回 9月 三矢防災センター） ドウコンディショナー、冷蔵庫、冷凍庫をホシザキ株式会社様と坂本会長様より 寄付

		事務局会議（原則第3月曜日開催）
14		コロナウイルス感染症対策のため、カフェ休業 コロナウイルス非常事態宣言下でのA型B型において臨時的な取り扱いをする 届け出（豊明市） コロナウイルス非常事態宣言下臨時的取り扱い 在宅利用者B型2名
16		管理者兼サービス管理者の変更について、ご利用者に説明
18		検便
22		イオン黄色いレシート分配商品券受理
27		労働保険料等算定基礎賃金等の報告 商工会
		4月ご見学者（A型2名）。ご利用契約者（A型1名）。支援者会議（A型3回、 B型1回）
		全ご利用者個別支援計画実施
5	3	LED照明化（ヤマダ電機レンタル契約） コロナ禍非常事態宣言による在宅利用B型2名
	22	「自己申告型人物評価表」（年2回 11月）実施
	28	障害福祉サービス等情報公表システムWAMのHPにアップ 新ご利用者（A型1名）ご見学者1名。支援者会議（A型3回、B型2回）
6	1	軽自動車税減免通知・法人市民税減免通知 会報誌Vol46発行（400部 年3回発行 HPにもアップ）
	2	業務災害総合保険契約（日新火災海上保険）
	4	テレワーク環境の整備 Zoomアプリ設定とカメラ導入
	10	軽自動車助成申請（中央競馬日本馬主福祉財団）
	11	ホシザキ株式会社坂本会長様と役員様に新管理者と理事長面談。事業承継に ついて。
	22	認定NPO法人パンドラの会 お菓子工房見学（職員4名）
	25	共有データ保管用NASと無停電電源導入・ファイル共有化とバックアップ整備 CANPAN（日本財団の公益活動団体データベース）に法人情報アップ
	29	令和元年度事業報告提出。令和2年度役員変更届提出
	30	レジ袋有料化 レジ対応 令和2年障害福祉サービス等経営実態調査提出
		6月ご見学者1名 支援者会議（A型3回 B型1回）契約者B型2名
7	1	インターネット契約価格低減契約変更（NTTからソフトバンク） 愛知県喫茶飲食組合事務局長ご来店。アビリンピックについて。
	5	2020年アビリンピック選手育成事業支援助成金申請
	7	アビリンピック現場指導（愛知県喫茶飲食生活衛生協同組合事務長）21、23日
	16	フェアトレードコーヒー準備 大曾根むすび作業所見学
	20	豊明市地元応援クーポン開始（～9/30）
	23	NPO法人パンドラの会岡部さん、DENSOプロボノ内藤さん、SNSでの情報 発信についてアドバイスをいただく。11月まで断続的に続く。
	25	福祉介護職員処遇改善計画書提出
	30	7月見学者（A型2名、B型2名）支援者会議A型3名、B型1名。
8	1	大府もちの木特別支援学校3年体験学習1名
	4	ランチメニュー変更会議（断続的に現場で話し合う）
	6	大掃除 避難訓練
	13	コロナウイルス非常事態宣言下臨時的取り扱い在宅利用 A型1名
	14	名古屋南養護学校3年 1名職場体験

	18	電力料金削減（中電ミライズから Loop 社）
	24	フェアトレードコーヒー豆選別作業研修
		8 月ご利用見学者 A 型 1 名。利用契約 相談支援者会議（A 型 2 名。B 型 1 名） 職場体験（B 型 1 名）
		むぎの花 BCP カード作成し、ご利用者に配布
9	10	第 2 回理事会（新型コロナウイルスのため議題のメール送付と持ち回りで開催）
	13	愛知県障がい者美術展・アールブリュット展に 3 名出展
	15	アビリンピック喫茶部門 愛知県地方大会出場 1 名
	17	中央馬主協会の助成認可決定（90 万円） トヨタピクシス 122 万円発注
	22	全ご利用者と家族参加型モニタリング実施 豊明プレミアム食事券事業説明会参加
		9 月ご利用見学（A 型 1 名）相談支援（A 型 1 名）ご利用契約者（A 型 1 名）
10	1	手織り販売（パティスリーモンド ～31 日まで）
	1	南生協健康まつり出店
	4	社会福祉施設等調査票提出 令和元年度工賃実績報告書提出
	16	第 7 回かけはしキッズ主催 在宅重度障害者の福祉リモート講習参加（2 名）
	18	ホンザキ東海電解水説明（11/13 と 2 回）
	23	豊明市おもてなし補助金申請
		10 月見学者（A 型 4 名）相談支援（A 型 2 名、B 型 1 名）職場体験（A 型 1 名） ご利用開始（A 型 1 名）
		全ご利用者個別支援計画実施
11	1	B 型ミニキッチン増設工事（～2）
	1	浄化槽法定点検
	6	検便検査
	12	ヤマト福祉財団障がい者給料増額支援助成申請にあたって、カフェ改造計画の 職員への説明
	20	食品衛生責任者講習参加 1 名
	25	障がい者施設従事者慰労金スタッフ全員配布 愛知県への実施報告済
	30	ヤマト福祉財団障がい者給料増額支援助成金申請（500 万円） 相談支援（A 型 2 名、B 型 1 名）
12	23	「障がい者の週 20 時間未満の短時間雇用に関する調査研究」アンケート提出 ひまわり作品展出店（A 型 3 名 B 型 2 名～5 日） 社会福祉施設等の耐震化に関する調査（E メール 県地域生活支援課）
	24	避難訓練届提出（市消防）
		1 2 月ご利用見学者（A 型 2 名）相談支援（A 型 2 名、B 型 1 名）職場体験（A 型 2 名）
	29	大掃除 避難訓練（地域の福祉避難所について説明）
1	4	コロナウイルス非常事態宣言下臨時的取り扱い B 型在宅利用者 2 名 軽自動車ピクシス納車
	19	食品衛生講習会 東京大学大学院「障がい者が係る農業活動に関する全国調査」郵送
	28	内閣府「令和 2 年度特定非営利活動法人に関する実態調査」送付 1 月見学者 A 型 3 名。相談支援（A 型 1 名）就労相談（A 型 2 名）
2	23	豊明市役所利用許可（パン販売）願提出 豊明市民交流センター（プラススクランブル祭り）出店

		コロナウィルス非常事態宣言下臨時的取り扱い B 型在宅利用者 1 名
		2 月見学者 (A 型 2 名) 相談支援 (A 型 1 名)
3	1	豊明市プレミアム付き食事券アンケート送付 豊明市民交流センター「プラススクランブル祭り」映像参加
	6	固定資産税減免申請書提出 (豊明市) 法人市民税減免申請書提出 (豊明市)
	10	南生協豊明支部健康まつり出店
	14	第 4 回理事会 ケース検討会議
	14	ヤマト福祉財団より助成のしらせ
	21	裏ごし機、真空パック機械のデモンストレーション (ホシザキ東海)
	27	介護福祉特定処遇改善加算みえる化シート HP アップ
		3 月ご利用契約(A 型 1 名 B 型 1 名)相談支援 (A 型 4 名) 職場体験 (A 型 1 名) 見学者 (A 型 2 名 B 型 1 名)
	31	全ご利用者モニタリング実施
	30	棚卸(~31)